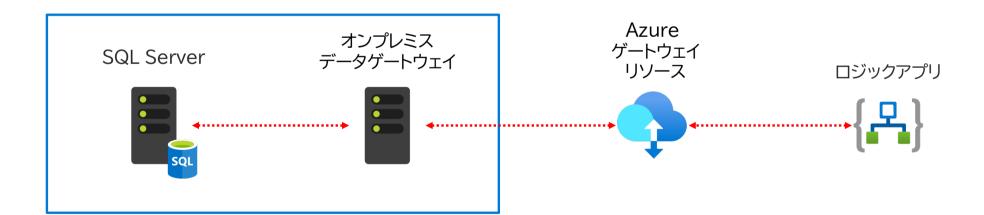
補助資料

AZ-305: Microsoft Azure Infrastructure Solutions の設計

2022年7月1.2.0

Azure Logic Apps とオンプレミスの連携

- VPN やインターネットからのアクセス不要のまま、ロジックアプリから SQL Server、SharePoint Server、Oracle DB、ファイル共有な どのオンプレミス システムにアクセス可能
- オンプレミスデータゲートウェイと Azure ゲートウェイリソースが必要



BLOB の種類

• BLOB の作成時に指定し、途中で変更不可

	ブロック BLOB	ページ BLOB	追加 BLOB
特徴	大量のデータの効率的な アクセス	ランダムな読み取りと書き 込み	追加操作
最大サイズ	190.7 TB	8 TB	195 GB
主な用途	・ 画像・ ドキュメント・ ビデオ・ オーディオ	仮想マシン ディスクバックアップデータ	ログ監査データ

ストレージアカウントの種類と冗長性

種類	LRS	ZRS	GRS	GZRS
Standard 汎用 v2	0	0	0	0
Premium ブロック BLOB	0	0		
Premium ページ BLOB	0			
Premium ファイル 共有	0	0		

BLOB の NFS 3.0 プロトコルによるマウント

- Standard 汎用 v2 または Premium ブロック BLOB で利用可能
- [階層型名前空間を有効にする]をチェック

Data Lake Storage Gen2

Data Lake Storage Gen2 の階層型名前空間は、ビッグ データの分析ワークロードを高速化し、ファイル レベルのアクセス制御リスト (ACL) を有効にします。 詳細情報

階層型名前空間を有効にする



BLOB のアクセス制御

アクセスキー

Shared Access Signature(SAS)

IAM

key1 () キー 50xXavLZ9l1bjBOYfvm1RVXl8ZCcrq52NM/Ap 接続文字列 DefaultEndpointsProtocol=https;AccountNap 使用できるサービス ①

✓ BLOB ✓ ファイル ✓ キュー ✓ テーブル

使用できるリソースの種類 ①

□ サービス □ コンテナー □ オブジェクト

与えられているアクセス許可 ①

✓ 読み取り ✓ 書き込み ✓ 削除 ✓ リスト

BLOB バージョン管理のアクセス許可 ①

✓ バージョンの削除を有効にする

開始日時と有効期限の日時 ①

開始 2021/02/05

終了 2021/02/05

ストレージ BLOB データ共同作成者 ①

ストレージ BLOB データ所有者 ①

ストレージ BLOB データ閲覧者 ①

ストレージ アカウント キー オペレーター

ストレージ アカウント バックアップの共同

ストレージ アカウント共同作成者 ①

ストレージ キュー データのメッセージ プロ

ストレージ キュー データのメッセージ送信

ストレージ キュー データ共同作成者 ①

• 完全なアクセス権

- 詳細なアクセス権
- ・ 有効期限の設定

• Azure AD アカウントの使用

Azure Time Series Insights による IoT シナリオ

• IoT データをリアルタイムに可視化



データの加工、蓄積、分析、可視化



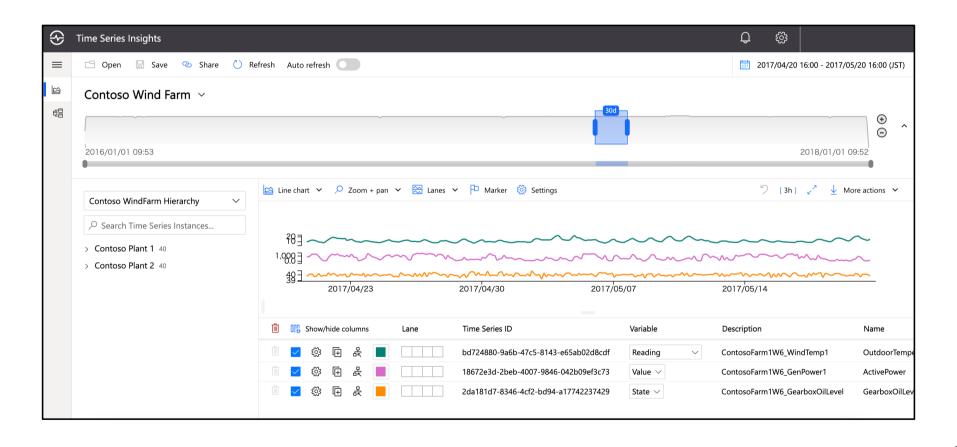




IoT Hub

Azure Time Series Insights

(画面)Azure Time Series Insights



Azure API Management での仮想ネットワークの使用

• Developer プラン または Premium プランでは仮想ネットワークへの配置をサポート



- バックエンドは仮想ネットワークに配置
- インターネットからアクセス可能(VPN 不要)
- バックエンドは仮想ネットワークに配置
- インターネットからアクセス不可 (仮想ネットワークまたは VPN 経由でアクセス)

Azure AD Privileged Identity Management(PIM)

- 特権アクセスを制限するサービス
- Azure AD Premium P2 または Microsoft 365 E5 プランで使用可能

継続的な特権アクセスの制限



- 最小権限を必要な時間だけ 割り当て (Just-in-Time アクセス)
- ・承認要求ワークフローを 構成可能

特権ロールをもつ ユーザーの検出



永続的な特権ロールを 割り当てられている ユーザーを容易に検出 アクセスレビュー

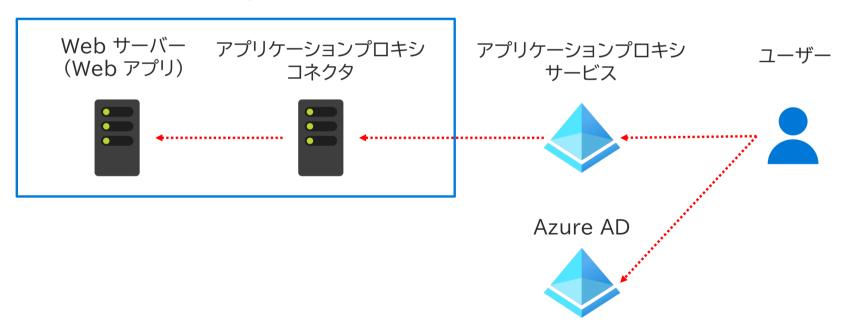


特権ロールごとのユーザーの アクティビティを確認

Azure AD アプリケーションプロキシ

- ・オンプレミスの Web アプリのリモートアクセスを簡単に実現
- ・エンタープライズアプリケーションとして Web アプリを発行

オンプレミス ネットワーク

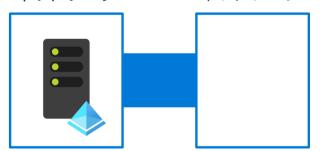


AD DS ドメインコントローラーのクラウド配置

・オンプレミスネットワークと仮想ネットワークの接続後、AD DS ドメインコントローラーはどちらのネットワークに配置しても利用可能

オンプレミスのみ

オンプレミス 仮想 ネットワーク ネットワーク



- 追加のドメインコントローラーが 不要
- リンク障害時、仮想ネットワーク 側からの認証は失敗

仮想ネットワークのみ

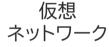
オンプレミス 仮想 ネットワーク ネットワーク



- オンプレミス側のリソース管理 が不要
- リンク障害時、オンプレミスネットワーク側からの認証は失敗

オンプレミスネットワークと 仮想ネットワークの両方

オンプレミスネットワーク



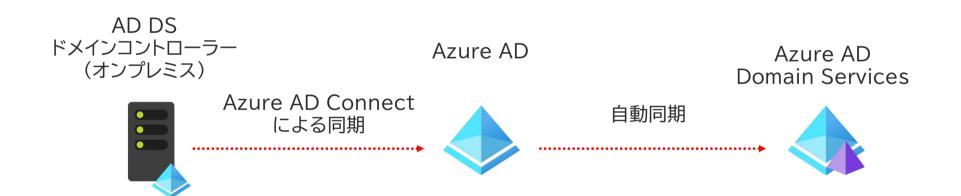




リンク障害時でも、両ネット ワークからの認証は影響を受けない

Azure Active Directory Domain Services

- •マネージド型の AD DS ドメインコントローラー
- Azure からオンプレへのアクセスは不要



Azure アクテビティログ

- サブスクリプションレベルのイベントの収集
- ・CSV ファイルをダウンロードして、月次レポートを作成可能



Azure Monitor ログテーブル

種類	説明	テーブル名
Windows イベントログ	システムログやアプリケーションログ などの Windows のイベントログ を収集する	Event
Syslog	Linux の Syslog データを収集する	Syslog
パフォーマンスカウンター	Windows または Linux のパ フォーマンスデータを収集する	Perf
IIS ログ	Windows の Internet Information Service(IIS) の ログを収集する	W3CIISLog
カスタムログ	Windows または Linux の任意の テキストログを収集する	<カスタムログ名>_CL

仮想ネットワークサービスエンドポイント

• 仮想ネットワークから Azure サービスへ直接アクセス

サービスエンドポイント

プライベートリンク

仮想ネットワーク



仮想ネットワーク



- ・ルートテーブルによるアクセス
- ・シンプル
- ・20 種類以上のサービスに対応
- 無料

- ネットワークインタフェースによるアクセス
- 特定のリソースのみにアクセスを制限
- Load Balancer、Storage、SQL DB に対応
- オンプレミスからのアクセスに対応

Azure Firewall Manager

- Azure Firewall ポリシーによる Azure Firewall と Azure Virtual WAN の一元管理
- Azure Firewall ポリシーは親子で構成可能
- 親ポリシーは子ポリシーと同じリージョンにあることが必要

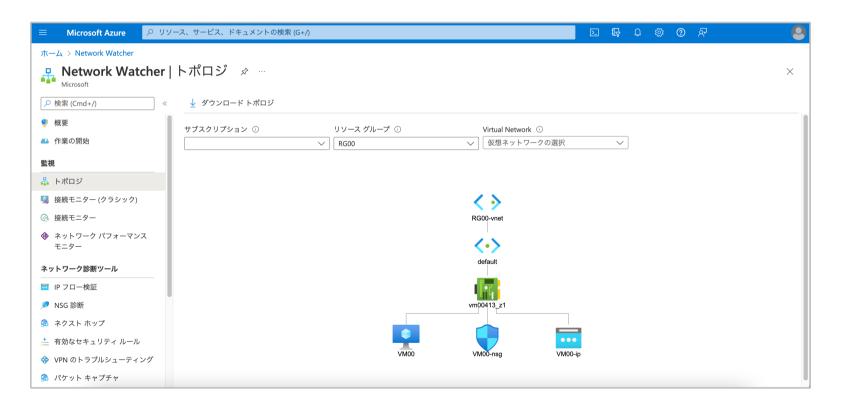


セキュリティで保護された 仮想ハブ

セキュリティで保護された 仮想ネットワーク

Network Watcher

• ネットワークの診断とパフォーマンスの監視

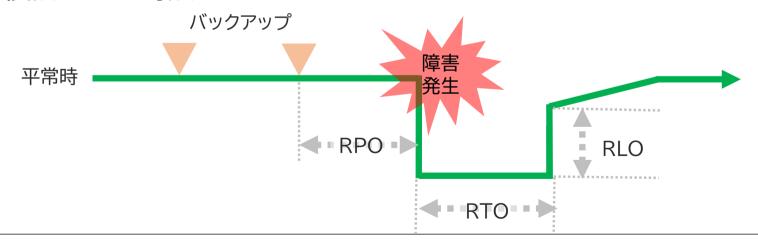


Network Watcher の機能

機能	説明
トポロジ	仮想ネットワーク内のすべてのリソースとその関係を表示する
接続モニター	仮想マシン間の通信を監視する
ネットワーク パフォーマンスモニター	ネットワーク インフラストラクチャ内のさまざまなポイント間のネットワーク パフォーマン スを監視する
NSG 診断	ソースとターゲットに対応した NSG とルール、最終的な許可または拒否を検証すかる
IP フロー検証	仮想マシンから送受信されるパケットの許可または拒否の状況を検証する
ネクストホップ	トラフィックが目的の宛先に転送されているかどうか、またはトラフィックがどこにも送 信されていないかどうかを検証する
有効なセキュリティ ルール	ネットワーク セキュリティ グループを監査および診断して、トラフィックが正しく許可ま たは拒否されていることを検証する
VPN のトラブルシューティング	ゲートウェイの正常性を診断する
パケット キャプチャ	仮想マシンとの間で送受信されるトラフィックを追跡するため、パケットをキャプチャする
接続のトラブルシューティング	接続の正常性を診断する
トラフィック分析	ユーザーとアプリケーションのアクティビティを可視化する

RTO, RLO, RPO

- •目標復旧時間(RTO: Recovery Time Objective)
 - 復旧にかかる時間はどれくらいか?
- •目標復旧レベル(RLO: Recovert Level Objective)
 - 復旧はどのレベルまでできるか?
- 目標復旧ポイント(RPO: Recovery Point Objective)
 - 復旧はどの時点までできるか?



(画面) 仮想マシンのバックアップポリシー

仮想マシンの RPO は 24 時間

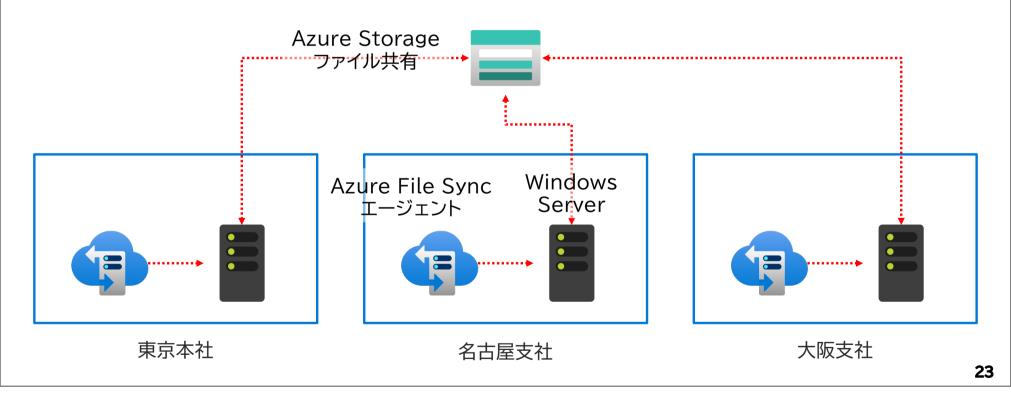




(画面)

オンプレミス ファイルサーバーの可用性の向上

• Azure File Sync による Azure Storage ファイル共有とオンプレミス Windows Server の同期



ビジネス継続性ソリューションの比較

	可用性セット	可用性ゾーン	Azure Backup	Azure Site Recovery
保護範囲	データセンター内	データセンター (地域)	リージョン	リージョン
RTO	小	小	大	中
RPO	小	小	大	中
自動復旧	あり	あり	なし	なし
コスト	高	高	低	低

Azure CycleCloud による HPC シナリオ

